21 現状のデバイスのデー タを編集したい!

21.1	現状のデバイスのデータを編集してみよう!	.21-2
21.2	設定ガイド	.21-6

21.1 現状のデバイスのデータを編集してみよう!

接続機器のデバイスデータを簡単設定で編集することができます。 ただし、編集できるデータは連続デバイスに限りますので、メンテナンス時などで一部のデータのみ バックアップ/編集する状況でご利用いただくことをおすすめします。

MEMO• バックアップ/編集したデータは、次項の「第 22 章 編集したデバイスのデータを戻したい!」で接続機器に格納することができます。

1 メニューバーの [ツール] から、[デバイスのバックアップ] をクリックします。

🎕 Pro-Studio EX 👘	?.прх				
ファイル(E) 編集(E)	ツール(<u>ד)</u> プログ	ラミング補助(P)	設定(5)	ヘルプ(田)	
💋 ۲۵-۴ 🔊	整合性のチェ: 参加局の検索	ック ネ	bi >	*	機能
「サンプルウィザード	デバイスのバッ デバイスのリス	クアップ トア - 1			
新規にネットワークを サンプルを選択して	GP画面の保存 SRAMバックア:	え ップデータの保存	÷.1	<u>п</u>	⊾/+
🔂 帳票作	読込み時間の	別定	- ጥም	9-9	⊂ta
	リモート接続 リモート切断		sよびG ったり、	PIこ接続る Accessな	\$れてい? :どデータ
🔁 रूप्र	Factory Gate	wayの設定	/とをつ)	なぐネット	ワークで
Mail送	信	Pro	o-Studi	o EXと	lt.
		1 (EQ	2Wayネット マイミングな	ワークに; ど、ネット	接続され ワークに

2 「デバイスのバックアップ」画面の各項目を設定し、[バックアップ] ボタンをクリックします。

デバイスのバックアップ	
指	定されたデバイスの現在値を読出し保存します。
局名	AGP1
機器名	PLC1
デバイスアドレス	Sheet3.PLC1データ
個数	5
	- データタイプ ○ ビット ◎ 符号なし10進 ◎ 16ビット ○ 符号あり10進 ◎ 32ビット ○ 16進
保存先フォルダ	C:¥Program Files¥Pro-face¥Pro-Server EX¥NPXDataBase 参照
ファイル名	%NODE_%DEVICE
	保存形式 ◎ BIN ◎ CSV
	バックアップ キャンセル

MEMO データの保存形式には以下の特徴があります。

• BIN

大容量のデータを保存する場合に適しています。ただし、バックアップしたデータをパ ソコン上で確認/編集することはできません。

• CSV

バックアップしたデータを Excel などで確認/編集することができます。

「処理状況」画面が表示され、バックアップ処理の経過が表示されます。

処理状況	
デバイスのデータをファイルに保存しています。	
0 / 255: 0 %	キャンセル

MEMO・「デバイスのバックアップ」画面で設定した内容が正しくない場合、以下のメッセージが表示されます。

メッセージの内容	対処方法
ビットでのバックアップは 255 までの数を指定してください。	[個数]の値を1~255の間に設定し直 してから、バックアップを実行してく ださい。
ビット型のシンボルはビット以 外でバックアップできません。	 [デバイスアドレス] にビット型のシンボルを設定している場合、ビット型以外のデータタイプではバックアップできません。 データタイプを「ビット」に設定し直してから、バックアップを実行してください。
ビット型以外のシンボルはビッ トでバックアップできません。	[デバイスアドレス] にビット型以外の シンボルを設定している場合、ビット 型のデータタイプではバックアップで きません。 データタイプを「ビット」以外に設定 し直してから、バックアップを実行し てください。

データが正常に保存されると、「デバイスのバックアップは正常に終了しました。」というメッセージ が表示されます。

[OK] ボタンをクリックすると、処理を終了します。



CSV 形式のデータ内容は、以下の通りです。
局名,(バックアップ元の局名)
機器名,(バックアップ元の接続機器)
デバイス名,(バックアップ開始のデバイスアドレス)
個数,(バックアップ個数)
デバイス長,(バックアップしたデバイスのビット数)
データタイプ,符号なし10進
日付、(バックアップした日付)

データ,コメント

(第1デバイスアドレスの値),(第1デバイスアドレス名) (第2デバイスアドレスの値),(第2デバイスアドレス名)

バックアップした日付は、「(年) / (月) / (日) (スペース)(時): (分)」のフォーマットで書き込ま れます。ただし(分)のみ、1けたの場合は0を補完します。

21.2 設定ガイド

デバイスのバックアップ	
指	定されたデバイスの現在値を読出し保存します。
局名	
機器名	Y
デバイスアドレス	▼
個数	265
	データタイプ ○ビット ◎ 符号なし10進 ● 16ビット ○ 符号あり10進 ● 32ビット ○ 16進
保存先フォルダ	C¥Program Files¥Pro-face¥Pro-Server EX¥NPXDataBase 参照
ファイル名	%NODE_%DEVICE
	保存形式 ———
	© BIN
	C CSV
	バックアップ キャンセル

設定項目	設定内容
	デバイスデータを読み出す参加局を選択します。
局名	МЕМО
	 リストには、ロード中のネットワークプロジェクトファイルに登録されている 参加局が表示されます。
機器名	デバイスデータを読み出す接続機器を選択します。
デバイスアドレス	データを読み出すデバイスの先頭となるデバイスアドレスまたはシンボルを入力 します。
	バックアップするデバイスの個数を入力します。
個数	МЕМО
	 バックアップできるデバイスの最大個数は、そのデバイスのデータタイプなど により異なります。
データタイプ	保存するデータのデータタイプを選択します。[保存形式]を[CSV]に設定し ている場合は、データ表記も設定します。
保存先フォルダ	ファイルの保存先フォルダを設定します。[参照] ボタンをクリックして選択す るか、直接入力します。
ファイル名	保存するファイル名を入力します。初期状態では、選択した局名、デバイスアド レス、保存形式、データタイプによってファイル名が変わるようになっていま す。

設定項目	設定内容
保存形式	 データの保存形式を選択します。 ・BIN バイナリデータとして保存します。 MEMO ・大容量のデータを保存する場合に適しています。ただし、バックアップした データをパソコン上で確認/編集することはできません。 ・CSV CSV データトレーズ保存します
	MEMO ・ バックアップしたデータをパソコン上で確認/編集することができます。